

現状の避難所等における薬剤師の活動等について

平成 28 年 5 月 24 日
公益社団法人 日本薬剤師会

熊本地震で被災され、不自由な生活を続けておられる皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、日本薬剤師会では、熊本地震の発生後、直ちに本会内に災害対策本部を立ち上げるとともに、都道府県薬剤師会との連携のもと継続的に活動を行って参りました。つきましては、平成 28 年 4 月 15 日（金）～5 月 23 日（月）までの薬剤師の活動と、熊本県内の薬局開局状況等についてご報告申し上げます。

1. 薬剤師の活動

- 避難所に設置された救護所において医薬品等の供給を実施
(モバイルファーマシー (MP: 災害対策医薬品供給車両)、臨時調剤所)
【主な活動場所】(5 月 22 日現在)
 - ・益城町総合体育館 (5 月 24 日終了予定)
 - ・益城町保健福祉センター (大分県薬MP) (5 月 31 日終了予定)
 - ・南阿蘇長陽庁舎 (和歌山MP) (5 月 31 日終了予定)
- 薬剤師が、救護所における医薬品の供給、DMAT/JMAT の避難所巡回に同行し、医療支援等を実施 (移動困難者の調剤など)
- 避難所において、一般用医薬品で対応が可能と考えられる被災者に対しては、災害医療チームとの連携の下で適切な一般用医薬品を供給し、医療チームの負担を軽減
- 被災者からの医薬品などに関する相談
- エコノミークラス症候群予防のための注意喚起チラシの配付
- 日本一般用医薬品連合会加盟各社より提供された一般用医薬品等を、集積所 (熊本県薬剤師会災害対策本部) において仕分け・管理し、各避難所へ払い出し
- 熊本県薬剤師会が派遣した災害薬事コーディネーターが、熊本県庁において支援調整等を実施
- 学校の再開にあたって、熊本県内の学校薬剤師が各学校の水道水の水質検査を実施。また、避難所の二酸化炭素濃度測定なども行う。

2. 派遣薬剤師数

- 実人数：844 人 延べ人数：2,496 人 (熊本県薬剤師会報告. 5 月 19 日現在)
- [参考] JMAT (5 月 23 日現在) 510 チーム中 薬剤師 142 人 帯同率 27.8%
- [参考] 日本病院薬剤師会 (5 月 16 日終了) 実人数：15 人 延べ人数：67 人

3. 熊本県内の薬局の開局状況 …別紙のとおり

- 熊本県薬剤師会の会員薬局のうち 6 軒が半壊被害の様子 (熊本県薬剤師会報告. 5 月 19 日現在)

○熊本地震発生以降（平28.4.14～）の薬局の開局状況（予定）

※熊本県薬剤師会ホームページより

地区	4/19	4/20	4/21～24	4/25～29	4/30～5/1	5/2～5/8	5/9～5/15	5/15～5/22	5/23～5/31
熊本市	200	221	140	174	199	166	152	154	162
八代	57	57	38	52	72	72	65	69	69
人吉球磨	(不明)	56	24	26	35	35	33	28	24
水俣葦北	21	21	12	13	13	13	10	12	13
荒尾	17	16	8	9	9	9	8	7	10
玉名	27	28	11	12	12	13	9	14	13
上益城	19	23	8	13	18	11	15	13	17
宇城	31	36	6	9	11	11	9	11	9
阿蘇	9	17	8	10	10	10	12	13	13
菊池	50	52	24	26	28	28	26	27	28
山鹿	10	10	7	8	13	13	10	5	6
天草	56	59	29	31	32	32	33	27	26
計	497 (63.2%)	596 (75.8%)	315 (40.1%)	383 (48.7%)	452 (57.5%)	413 (52.5%)	382 (48.6%)	380 (48.3%)	390 (49.6%)

<参考> 熊本県の薬局数 838施設（平成26年度衛生行政報告例、厚生労働省）
うち日薬会員薬局数 786施設（平成28年4月28日時点）

- ・4/19、4/20は熊本県薬から会員薬局へのファクシミリ送信に対して返信があった薬局数の集計値
- ・上記以降はネット上で自らの施設の開局状況（予定）について入力があった薬局数の集計値

○地区別詳細

地区	営業不能	一部自棄	その他	詳細
熊本市		3	1	その他：移転予定
上益城		1	1	その他：土曜日のみ短縮
計		4	2	

2016年5月23日（月）17：00現在

熊本地震に係る日本薬剤師会の対応について

4月15日（金） 16人の薬剤師を派遣（厚生労働省発表、以下同じ）

- 日薬から都道府県薬剤師会へ第一報を通知
- 担当役員打合わせ後、日薬に災害対策本部設置
- 16：00 第2回災害対策本部会合開催。日薬から都道府県薬剤師会へ第二報（医生局総務課事務連絡文書添付：略）を通知
- 熊本県薬剤師会からの要請により、大分県薬剤師会から5名（薬剤師3名、事務員2名）が同会所有のモビルフーマシー（災害時対応医薬品供給車両）にて益城町役場の医療救護所（16日に保健福祉センターに移動）へ出勤
- 同日夜、日本薬剤師会・田尻常務理事、福岡県薬剤師会・原口専務理事が熊本県薬と打合せ
- 日本一般用医薬品連合会に対して、一般用医薬品等の配送を依頼。4月21日より順次、同協会加盟各社より直接、熊本県薬剤師会災害対策本部に配送を実施

4月16日（土） 23人の薬剤師を派遣

- 11：00 第3回災害対策本部会合開催。被災状況・各県対応状況確認
- 同日中に、宮城・福岡県・佐賀県・宮崎・鹿児島各薬剤師会より計9名の薬剤師が現地に入るなど20日までは九州ブロックの薬剤師会で支援
- 16：00 第4回災害対策本部会合開催。17日以降の対応策協議

4月17日（日） 33人の薬剤師を派遣

- 災害対策本部担当役員・職員で情報収集に努めるとともに、今後の支援活動に関する課題等について打合せ
- 日本薬剤師会・永田常務理事、同・大原理事が同日夕方熊本県薬剤師会に到着し、先遣の田尻常務理事とともに熊本県薬担当役員らと情報交換。支援薬剤師の今後の派遣先、必要人数、課題等打合せ。薬剤師会として、JMAT等に協力すべく、益城町総合体育館、同保健福祉センター及び阿蘇熊本空港ホテル・エミナース、宇土市役所等に設置されている医療救護所に支援薬剤師を派遣すべく、都道府県薬剤師会に協力要請することを確認

4 月 18 日（月） 35 人の薬剤師を派遣

- 10：30 第 7 回災害対策本部会合開催
- 日本薬剤師会より都道府県薬剤師会に対し、具体的な派遣協力依頼を通知（医政局総務課事務連絡文書添付）
- 和歌山・広島・大分各薬剤師会にモバイルファーマシーの出動を要請
- 広島県薬剤師会のモバイルファーマシー出動

4 月 19 日（火） 46 人の薬剤師を派遣

- 東京都薬剤師会が支援薬剤師 3 名を派遣
- 和歌山県薬剤師会のモバイルファーマシー出動（現地到着は 20 日）
- 本日より適宜、熊本県薬剤師会から日本薬剤師会へ「熊本県における薬剤師派遣経過・予定表」（派遣先、派遣人数、派遣元都道府県薬剤師会名）が提供されることとなる。日本医師会及び厚生労働省とも情報共有を図る
- 本日より適宜、日本医師会から日本薬剤師会へ「今後の J M A T 派遣予定」情報が提供されることとなる。熊本県薬剤師会と情報提供を図る

4 月 20 日（水） 63 人の薬剤師を派遣

- 大阪府薬剤師会が支援薬剤師 3 名を派遣（その後、各都道府県薬剤師会より派遣）
- 日本医師会より被災者健康支援団体連絡協議会構成団体に対し、被災地において相互に協力して活動できるようお願いしたい旨通知が出される。また、日本医師会より都道府県医師会に対し、J M A T（日本医師会災害医療チーム）の編成にあたっては、都道府県歯科医師会・薬剤師会等と事前に連携するよう求める通知が出される。これらを受け、日本薬剤師会より都道府県薬剤師会に対し、J M A T への参加を依頼する第四報（別添）を通知
- 南阿蘇村に設置された仮設診療所における調剤等支援開始
- 被災会員への義援金についての方針を、都道府県薬剤師会に通知

4 月 21 日（木） 74 人の薬剤師を派遣

- 益城町の救護所 3 か所及び南阿蘇村白水庁舎等で、都道府県薬剤師会等の薬剤師が支援活動を継続。益城町保健福祉センター担当の派遣薬剤師の中から、一部の J M A T 班等に同行開始。益城町総合体育館の日赤・熊本国際医療班には薬剤師が含まれており、派遣薬剤師による支援の必要性が低いことから、和歌山県薬剤師会のモバイルファーマシーを南阿蘇村に移動

参 考 資 料

○南阿蘇村にて和歌山県薬剤師会のモバイルファーマシー活動開始。日赤チーム、J M A T等に派遣薬剤師同行

○宇土市の救護班の夜のミーティングにおいて、同市の救護所・避難所への薬剤師班の派遣要請があり、22日以降薬剤師2、3名を派遣することとする（うち1名は巡回）

4月22日（金） 70人の薬剤師を派遣

○午後から、宇土市の避難所（宇土市民体育館）に薬剤師班（滋賀県薬3名）がO T C医薬品を持参。昼間の巡回診療、仮設診療所では災害処方箋を発行し近隣薬局で対応夜間及び移動困難者の調剤を薬剤師班が担当予定

○午後から、嘉島町役場の救護所にて薬剤師班（広島県薬3名）が活動開始

4月23日（土） 100人の薬剤師を派遣

○広島県薬剤師会のモバイルファーマシーが、エミナースから嘉島町の救護所に移動して活動

○益城町総合体育館、益城町保健福祉センター、阿蘇熊本空港ホテルエミナース、嘉島町役場、南阿蘇白水庁舎の救護所等で活動を継続

○日本薬剤師会・田尻常務理事、同・荻野理事が熊本県薬剤師会に入る

4月24日（日） 113人の薬剤師を派遣

○益城町総合体育館、益城町保健福祉センター、阿蘇熊本空港ホテルエミナース、嘉島町役場、南阿蘇白水庁舎の救護所等で活動を継続

4月25日（月） 93人の薬剤師を派遣

○前日同様、益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行、避難所でのエコノミークラス症候群の予防や手指消毒の励行の注意喚起など実施。

4月26日（火） 109人の薬剤師を派遣

○益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

○田尻常務理事・荻野理事、熊本県薬務衛生課長らと今後の薬剤師班の対応等について意見交換。

○17：00 被災者健康支援連絡協議会開催。生出副会長が、薬剤師の活動、薬局の稼働状況、日薬の取組を説明。今後の支援活動の継続については地元の意向を踏まえて判断。していくことが確認された。

○26日より、益城町総合体育館に設置されている仮設診療所での診察が9時～22時とな

るため、同所の夜間・深夜の医薬品管理を薬剤師班で担当。

4月27日（水） 91人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 15:00 荻野理事、因幡熊本県薬剤師会常務理事、南阿蘇白水庁舎で行われる医療班との会議に出席。今後の医療体制等について協議。
- 第8回災害対策本部会合開催。派遣薬剤師の派遣継続を正式決定。「当面、5月10日まで」としていたが、被災地においては、避難所生活を余儀なくされている方が未だ多数おられ、地元の薬剤師の方々も被災された中で対応されていることから、派遣期間を「5月31日まで」延長することとする。また、被災会員に対する義援金募集の実施も正式決定。いずれも、4月28日に都道府県薬剤師会に通知予定。

4月28日（木） 109人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 派遣薬剤師の募集継続（5月10日迄→5月31日迄）を都道府県薬剤師会に第六報として通知。
- 被災会員への義援金募集を都道府県薬剤師会に通知。
- 日本薬剤師会定例記者会見において、薬剤師の活動、薬局の稼働状況、日薬の取組を説明。

4月29日（金） 107人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 熊本県庁で開催されたコーディネータ連絡会議に熊本県薬剤師会・神田専務理事出席。

4月30日（土） 100人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 藤井基之参議院議員（本会顧問）が熊本県薬剤師会を訪問し対応状況の報告を受け、その後、南阿蘇村、益城町の救護所を訪問。

5月1日（日） 104人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。なお、本日、南阿蘇村では白水庁舎の救護所を閉じ、長陽（南阿蘇中学校）の救護所に集約された。
- 日本薬剤師会・田尻常務理事、同・荻野理事（4月23～30日）に引き続き、田尻常務理事と三浦福岡県薬剤師会副会長が熊本県薬剤師会に入る。

5月2日（月）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月3日（火）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 日本薬剤師会・山本会長が同日朝、熊本県薬剤師会を訪問し対応状況の報告を受け、その後、嘉島町、益城町、南阿蘇村の救護所、並びに南阿蘇白水庁舎を訪問。

5月4日（水）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月5日（木）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月6日（金） 100人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 熊本県医療救護調整本部会議が開催され、今後の救護所の体制等について意思決定が行われる。

5月7日（土）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 日本薬剤師会・田尻常務理事と三浦福岡県薬剤師会副会長の熊本県薬剤師会への派遣終了。

5月8日（日）

- 益城町、南阿蘇村、嘉島町の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。なお、嘉島町の救護所での活動は本日で終了。

5月9日（月）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。なお、エミナスの救護所での活動は本日までで、明日、撤収の予定。
- 広島県薬剤師会のモバイルファーマシーが撤退。

5月10日（火）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 九州山口薬剤師会並びに九州山口薬学会が、本年9月18・19日に開催を予定していた第77回九州山口薬学大会の開催中止を決定（5月9日付）。

5月11日（水） 39人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 都道府県会長協議会において、日本薬剤師会から各都道府県薬剤師会に対し、薬剤師派遣（5月31日迄）への引き続きの協力を依頼する。
- 学校の再開にあたって、熊本県内の学校薬剤師が各学校の水道水の水質検査を実施。また、避難所の二酸化炭素濃度測定なども行う。（5月9日までに実施）

5月12日（木）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月13日（金） 33人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月14日（土）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月15日（日）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月16日（月） 44人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 日本病院薬剤師会が薬剤師ボランティアの募集を終了。延べ67人（実人数15人）を被災した医療機関へ派遣した。
- 大分県内の避難所（最大116箇所）が全て閉鎖される。

5月17日（火）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。
- 熊本県薬剤師会において、今後の救護所への支援体制等について意思決定が行われる。
 - ・益城町総合体育館の救護所は5月24日で閉鎖の予定。
 - ・それに伴い、派遣薬剤師を減少させ、地元の医療機関にかかるよう誘導する方針。

5月18日（水）

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月19日（木） 29人の薬剤師を派遣

- 益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

○被災薬局の復興支援策について、熊本県薬剤師会から報告された被害状況を基に、厚生労働省と日本薬剤師会で協議。独立行政法人福祉医療機構の融資の特例枠設置は断念し、日本政策金融公庫の融資制度等と、中小企業庁の被災中小企業者支援策を紹介するにとどまる。

5月20日（金）～22日（日）

○益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

5月23日（月） 21人の薬剤師を派遣

○益城町、南阿蘇村の救護所等での調剤、巡回医療班への同行など実施。

○派遣薬剤師の募集終了（派遣は5月31日迄）を都道府県薬剤師会に通知

【今後の予定】

○益城町総合体育館の救護所は5月24日で閉鎖の予定。（5月25日に片付け）

○益城町保健福祉センター（大分県薬MP有）、南阿蘇長陽庁舎（和歌山MP有）の救護所は5月31日で閉鎖の予定。

日 薬 発 第 6 5 号

平成 2 8 年 5 月 2 3 日

都 道 府 県 薬 剤 師 会 会 長 殿

日 本 薬 剤 師 会

会 長 山 本 信 夫

平成 2 8 年熊本地震への対応について（第七報）
～ 派遣薬剤師の募集終了について（御礼と報告）～

熊本地震への支援薬剤師の派遣につきましては、平成 2 8 年 4 月 1 8 日付 日薬発 1 4 号、及び平成 2 8 年 4 月 2 8 日付 日薬発 4 4 号にてお願い申し上げ、格別のご高配を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、震災発生後約 1 カ月を経過し、被災地では避難所生活を余儀なくされている方が未だ多数おられるものの、地域医療体制も徐々に復旧しつつあることから、熊本県薬剤師会とご相談の上、都道府県薬剤師会からの支援薬剤師の派遣につきましては、5 月末日をもって終了することといたしました。長期にわたり支援活動にご協力いただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

なお、6 月以降につきましては、できる限り地元薬剤師会でご対応いただくこととしておりますが、被災地域の事情により県外からの支援が必要になると見込まれる場合には、熊本県薬剤師会と本会にて調整の上、近隣県の薬剤師会を中心に再度ご協力をお願いすることもございますので、その節にはご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、都道府県医師会において調整・派遣される J M A T（日本医師会災害医療チーム）への薬剤師の参加につきましては、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。